



今しかできないことに全力で取り組もう！

鳳凰祭で楽しく踊った日から、もう3週間が経ちました。私は年次主任として、皆さんのダンスを審査させていただきました。皆さんのダンスを審査することは、とても複雑な気持ちでしたが、各クラスの特徴、一人ひとりの個性、一体感から生まれるエネルギー…皆さんのダンスから、たくさんの元気をもらいました。そして、一つのことに夢中になり、全力で取り組む皆さんの姿を、誇りに思いました。これだけのことができる皆さんには、無限の可能性があることも確信しました。この鳳凰祭で得たものを、一人ひとりの成長に繋げられる夏にしましょう。

明日から夏休みが始まります。夏休みに入る前に、これまでの自分自身を振り返り、反省すべきことはしっかりと反省してほしいと思います。今までの自分を振り返ることなくして、明るい未来を築き上げることは考えられないと感じます。自分の「弱み」を克服しつつ、「強み」を自信に変える夏であってほしいと思います。

この夏休みを有意義なものにするポイント

- 1 安全・健康に留意して、規則正しい生活を心がけよう。（決められた時間に起床・就寝を）
- 2 来年を見越した学習に取り組もう。（基礎基本の徹底、不得意科目の克服を）
- 3 一つのことに継続して取り組もう。（小さなことでも継続して取り組むことが大切です）
- 4 一日一回、家事を手伝おう。（地域の活動にも参加してみましょう）
- 5 読書をしよう。新聞を読もう。（社会に目を向けること、見聞を広めることの必要性）
- 6 スマホや携帯の使い方に注意しよう。（使用時間の制限、SNSの危険性）

この夏休みは、二年次生にとって、とても重要です。特に進路実現に向けて、この夏休みをどのように過ごすかが、とても重要な意味を持っています。今年度に入ってから、まもなく4ヶ月が終了しますが、夏休みが明けて前期が終了すると、高校生活の半分が終わることになります。マラソンで言うと「折り返し地点」です。「折り返し地点」に差し掛かる前に、今しか出来ないことに全力で取り組んでください。それが、後々間違えたことであっても、すぐに結果が出ないことであっても、全力で取り組んできた過程は、決して無駄なものではないと思います。この夏休みに、どれだけ考え、どれだけ動くかで、皆さんの人生は大きく変わってくるはずです。一ヶ月後に様々な経験を経て、人間的に大きく成長した皆さんに会えることを楽しみにしています。

2年次主任 小林 健

保護者のみなさまへ

1) 三者懇談への出席、ありがとうございました。

保護者の皆様には、猛暑の中、御多忙のところ、学校に足を運んでいただき、ありがとうございました。お子様の家庭での様子や指導方針、将来への展望などについて伺うことが出来、有意義な情報交換の機会となりました。

夏休み中は、お子様とふれあう時間が多くなることと思います。普段では話せなかったことを、じっくり語り合いながら、お子様の成長に繋げる機会としていただきたいと思います。

2) 交通事故・違反「0」三ヶ月運動

4月から7月まで、何件かの交通事故・違反がありました。多くは不注意による違反や、軽微な接触事故でしたが、一歩間違えば重大な事態になりかねないものもありました。自転車・バイクともに交通事故への注意喚起を重ねてお願いいたします。交通事故以外でも、夏休み中に何らかの問題が生じましたら、速やかに学校または担任まで御連絡ください。

今後の予定

7月23日(日)	中学生向け学校説明会(コラニー文化ホール)
7月24日(月)～26日(水)	夏季集中学習会①
7月31日(月)～8月5日(土)	夏季特別課外(山梨予備校)
8月17日(木)～18日(金)	夏季集中学習会②
8月19日(土)	PTA進路講演会、全統記述模試
8月23日(水)	休業明け集会、大掃除、年次集会
8月24日(木)	学カテスト、LHR
8月25日(金)	学カテスト、年次集会、健康の森ウォーキング事前健康調査
8月28日(月)	総合防災避難訓練実施週間(～9月1日)
8月31日(木)	夏季バイク通学許可式

学カテストの日程

		文系	理系			文系・理系
8/24 (木)	1	化学基礎・文系生物I (2教科で60分)	化学基礎 (60分)	8/25 (金)	1	英語リスニング(30分)
	2	自習	物理/生物 (60分)		2	英語(80分)
	3	日本史/世界史 (60分)	日本史/地理 (60分)		3	国語(80分)
	4	数学(80分)			4	現代社会(60分)
	5	LHR			5	年次集会

これから、年次の先生全員によるエッセイを載せていきます。皆さんの進路決定などに参考になると嬉しいです。まずは小林からスタートします。

「音楽を通して変わった自分」

2年次主任 小林 健

私は小学校低学年の頃、音楽の成績は三段階評価で一番下の「努力しよう」でした。小三で転校をしました。その時の担任の先生は音楽が大好きな先生でした。その先生と出会わなければ、音楽が楽しいものだと感じることはなかったと思います。小五で病弱だった父親が他界し、暗い気持ちを引きずりながら中学校に入学しました。学園祭の合唱指揮をしたことがきっかけとなり、吹奏楽部への入部を勧められました。全国大会出場を果たした先輩方の演奏は私の心に深く響き、父が亡くなった悲しみも忘れることができたのです。その時、音楽が持つ力や可能性を感じ、音楽を一生続けようと思いました。

その後、西高に進学しましたが、当時の西高には技術指導のできる顧問がいませんでした。定期演奏会の指揮は生徒が分担し、コンクールの指揮は音楽大学に進学した先輩にお願いしました。結果は出せませんでしたが、自分たちで作り上げる音楽に誇りを感じていました。高二の夏、先輩の影響もあり、音楽大学に進学したいと考えるようになりました。母子家庭だったので母親には大反対をされました。1年がかりで説得を重ね、なんとか受験をすることを許されたものの、準備期間はとてもハードな毎日でした。本当は東京芸大を受験するつもりでしたが、自分の悪い思いこみにより、少しでも合格の可能性が高い私立音大のみの受験に切り替えてしまいました。駄目もとても芸大に挑戦しなかったことは、未だに後悔していることの一つです。音大での生活では、多くの人と出会ったり、あらゆる経験をしたりしましたが、そこで学んだものは音楽の技術や知識だけではなく、音楽を通して人として大切にしなければならぬことの方が多かったと思います。

音楽が大好きだった先生と出会った小学校時代、父親の亡くなった悲しみを乗り越え音楽に夢中になった中学校時代、生徒主体で音楽を作り上げた高校時代、母親の反対を押し切ってまで貫き通した音大への進学…。その後も多くの経験をしましたが、それらの全てが今の自分を作り上げたのだと思います。後悔だらけですし、紆余曲折もありました。順風満帆に物事が進まないことの方が多かったかもしれません。皆さんは、これから様々な経験をすると思いますし、苦しく辛いことの方が多くなることと思います。その一つ一つには意味があり、それらの経験が将来の自分を作り上げるのです。

